

Re-Seed 特別セミナー「環境不動産・SDGsセミナー～不動産投資におけるESG投資・SDGsの推進とRe-Seed機構 ・民都機構の活用について」(12月開催分 2日目)

■開催日時：2020.12.18 (金) 15:00～16:50

(9月25日開催時の録画を配信)

【第3部】耐震・環境不動産形成促進事業について

□講師 一般社団法人 環境不動産普及促進機構
専務理事 酒井 博史

□講師略歴 昭和54年 一橋大学法学部卒
同年 住宅金融公庫入庫
平成19年 独立行政法人 住宅金融支援機構 住宅融資保険部長
平成21年 一般財団法人 民間都市開発推進機構 派遣 審査部長
平成25年3月 当機構派遣 事務局長
同年10月～ 現職、不動産証券化協会認定マスター

RE-SEED

アジェンダ

1. RE-SEED機構の概要
2. RE-SEED機構のSDGs達成に向けた取組みとESG投資
3. 耐震・環境不動産形成促進事業の概要
4. 耐震・環境不動産形成促進事業の活用事例
5. 地方都市における不動産再生促進に向けた協力関係の構築
6. 耐震・環境不動産形成促進事業の地域別相談窓口

別添資料① FM選定ガイドライン
別添資料② 投資ガイドライン

Copyright(c) 一般社団法人 環境不動産普及促進機構 All Right Reserved. 2

□講座概要 老朽・低利用不動産の改修、建替え又は開発を行い、耐震・環境性能を有する良質な不動産を整備するプロジェクトに出融資を行う事業「耐震・環境不動産形成促進事業」をご案内させていただきました。

【第4部】不動産ストックの活用による地域価値向上を目指す「リノベーションまちづくり」の可能性

□講師 一般財団法人 民間都市開発推進機構
まちづくり支援部長 加藤 永 氏

□講師略歴 1985年早稲田大学大学院理工学研究所修士課程(建築・都市計画専攻)修了、同年、建設省(現国土交通省)入省。
2006年都市局都市計画課土地利用調整官、2012年都市局都市安全課都市防災対策推進室長、2016年内閣官房内閣参事官。
この間、東京都庁、兵庫県庁、長崎県庁等で住宅・まちづくり分野に従事。
2018年より現職。一級建築士。

□講座概要 不動産ストックの連鎖的なリノベーションにより、地域資金による空き物件の資産化を通じた地域価値の向上を目指す「リノベーションまちづくり」について、支援制度や特徴的な具体事例をご紹介いただくとともに、各地域での展開の可能性について解説していただきました。

本日のテーマとポイント

MINTO 講演

● 不動産ストックの活用による地域価値向上を目指す「リノベーションまちづくり」の可能性

不動産ストックの連鎖的なリノベーションにより、地域資金による空き物件の資産化を通じた地域価値の向上を目指す「リノベーションまちづくり」について、支援制度や特徴的な具体事例を紹介し、各地域での展開の可能性を解説します。

1. 人口減少とまちづくり
 - (1) 都市のスポンジ化(空き家増加と市街地密度の低下)
 - (2) まちの魅力の再構築(人が集まる仕掛け)
 - (3) 地域資金の活用(空き家の資産化)
2. リノベーションまちづくりの動き
 - (1) 北九州初「リノベーションスクール」
 - (2) リノベーションプロジェクトのビジネスパターン
 - (3) 連鎖的展開による地域価値の向上
3. 地域資金の活用とMINTOの支援
 - (1) 地域単位の集中投資(マネジメント型まちづくりファンドの注目事例)
 - (2) P R E 活用等へのスポット投資(まち再生出資の注目事例)
 - (3) 民間開発への公共施設導入(官民連携の新方式)
4. 新たな展開に向けて・・・「まちなかウォークアブル推進プログラム」

2